



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年7月13日 東

上場会社名 株式会社パスポート 上場取引所  
 コード番号 7577 URL <http://www.passport.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 水野 純  
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 久保田 勝美 (TEL) 03(3494)4497  
 兼総合企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の業績（平成27年3月1日～平成27年5月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	2,936	△1.0	88	—	74	—	62	—
27年2月期第1四半期	2,965	△9.7	△17	—	△35	—	△51	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年2月期第1四半期	12.35		—					
27年2月期第1四半期	△10.23		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	5,825	686	11.8
27年2月期	5,599	646	11.5

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 686百万円 27年2月期 646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	△1.2	80	—	60	—	10	—	1.98
通期	11,300	0.1	200	—	150	—	50	—	9.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年2月期1Q	5,270,000株	27年2月期	5,270,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年2月期1Q	218,981株	27年2月期	218,981株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年2月期1Q	5,051,019株	27年2月期1Q	5,051,019株
----------	------------	----------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(3) 追加情報 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	5
4. 四半期財務諸表 .....	6
(1) 四半期貸借対照表 .....	6
(2) 四半期損益計算書 .....	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の経済政策により、円安・株高の基調が続いて輸出関連企業を中心に、企業収益や雇用・所得の環境に改善の動きが見られました。更に、原油価格の下落や設備投資の持ち直し等により、景気は回復基調で推移しております。

雑貨という広範な商品ジャンルの中で、比較的廉価な生活雑貨を扱う当社の業界でも、消費税増税から1年が経過して、節約志向の生活防衛型消費をベースにしつつ、安さより価値を重視する生活スタイルの消費者が増えてまいりました。そうした消費行動の変化と、プレゼントやインテリア関連雑貨の需要増を捉え、商品のデザインやコンセプトにこだわって、お客様に『カワイイ』『優しい』生活をご提案することのできる商品と、品揃えの拡充に取り組んでまいりました。

また当社では、前期から中期経営計画『CHALLENGE50』を掲げて、ここ数年来の売上不振から脱却することを最大のテーマに、『Passport』ブランドの再生に向け全社をあげて『MDリフォーム(品揃え改修)』に取り組んでおります。直輸入のPB(プライベートブランド)商品開発と、営業ブロック長によるNB(ナショナルブランド)商品仕入では、商品のデザインポリシーやコンセプトのバラつき、品揃えの偏り等を矯正し、パーソナルギフトに最適なインテリアライフ雑貨の品揃えを目指してまいりました。その結果、当第1四半期で直営既存店前年比は102.3%となり、直前四半期と続けて既存店前年比がプラスに転じております。

当第1四半期は直営店を1店舗出店し、直営店2店舗とフランチャイズ店1店舗を退店いたしました。また、1ヶ月間の催事店舗として、東京駅のキャラクターストリートにワゴンで出店し好評を持って終了しました。その結果、当第1四半期会計期間末の店舗数は、直営店が149店舗、フランチャイズ店が14店舗の計163店舗となりました。なお、直営店1店舗で改装を実施しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,936百万円(前年同四半期比1.0%減)、営業利益88百万円(前年同四半期は17百万円の営業損失)、経常利益74百万円(前年同四半期は35百万円の経常損失)、四半期純利益62百万円(前年同四半期は51百万円の四半期純損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて225百万円(4.0%)増加、5,825百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて274百万円増加し、3,618百万円となりました。これは、主に現金及び預金が51百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が284百万円、商品が17百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて49百万円減少し、2,206百万円となりました。これは、主に有形固定資産が18百万円、無形固定資産に含まれるソフトウェアが14百万円、敷金及び保証金が20百万円減少したことによるものであります。

## ②負債

当第1四半期会計期間末の負債総額は、前事業年度末に比べ185百万円(3.7%)増加し、5,139百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて68百万円減少し、3,336百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が142百万円増加したものの、短期借入金が289百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて253百万円増加し、1,802百万円となりました。これは、主に社債が120百万円減少したものの、長期借入金が増加したことによるものであります。

## ③純資産

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて39百万円(6.2%)増加し、686百万円となりました。これは、主に25百万円の配当により資本剰余金が減少したものの、四半期純利益62百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月13日に公表いたしました予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性がありますことをご了承願います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

当第1四半期累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
<p>当社は、短期借入金のうち、動産担保融資契約に基づく360,000千円には遵守事項があり、その内容は次のとおりであります。</p> <p>(1) 各事業年度末時点での貸借対照表における純資産額を平成21年2月期決算期末時点の金額の75%以上(761,568千円以上)に維持すること</p> <p>(2) 各事業年度末時点での貸借対照表における棚卸資産の回転月数を2.0ヶ月以下に維持すること</p> <p>(3) 各事業年度末時点での経常利益について、2期連続でマイナスとしないこと</p> <p>前事業年度末は、これらの遵守事項の一部に抵触致していますが、当第1四半期累計期間におきましては、取引銀行からは上記状況を認識いただいた上で、既存借入金の融資継続に応じていただいています。また、当第1四半期累計期間に取引銀行より530百万円の長期借入金を調達しております。</p>

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度における重要な営業損失の発生および営業キャッシュ・フローのマイナスにより、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が見受けられます。当該事象又は状況を解消するため、以下のような対応を実施しています。

当第1四半期累計期間におきましては、営業損失のマイナスという状況からは脱却しておりますが、当社を取り巻く環境は、円安の継続による仕入原価の高騰や増税を見通しての節約志向の浸透もあり、個人消費を取り巻く環境は依然として厳しい見通しであります。そうした中で、当社は「MDリフォーム（品揃え改修）」の取り組みを一段と強化してまいります。具体的には、組織の再編、会議体の見直し、営業部と商品部のタイムリーな情報共有等を実施いたします。その上でお客様ニーズをより反映した商品開発に取り組み、既に成果が出ているインテリア部門を中心に、対策が遅れているライフファブリックスやダイニングの部門にオリジナルの新商品を投入することで、他社との差別化を進めてまいります。また、店舗ごとの客層の違いにも対応するため、店仕入を強化してお客様のニーズに対応できる仕組みを作ってまいります。さらに、収益性の改善に向けて、店舗及び商品センターの在庫圧縮に取り組み、物流関連コストの削減を中心に、これまで進めてまいりました経営体質改善にも積極的に取り組んでまいります。

上記施策を実施することにより、営業利益および営業キャッシュ・フローの黒字化を図ってまいります。

資金面に関しましては、取引金融機関からの継続的な支援協力を得ており、当第1四半期累計期間において、㈱みずほ銀行、㈱横浜銀行及び㈱商工組合中央金庫より530百万円の長期借入金を調達しており、今後とも資金調達や資金繰りの安定化に努めてまいります。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成27年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	995,369	943,501
受取手形及び売掛金	511,105	795,216
商品	1,645,956	1,663,498
未着商品	40,295	20,310
その他	150,954	195,922
流動資産合計	3,343,681	3,618,448
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	366,477	363,167
工具、器具及び備品(純額)	123,845	109,101
その他	15,998	15,554
有形固定資産合計	506,321	487,823
無形固定資産	145,669	130,806
投資その他の資産		
破産更生債権等	6,399	6,399
敷金及び保証金	1,548,432	1,527,720
その他	55,781	60,258
貸倒引当金	△6,399	△6,399
投資その他の資産合計	1,604,213	1,587,978
固定資産合計	2,256,204	2,206,609
資産合計	5,599,885	5,825,057
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,456,743	1,598,833
1年内償還予定の社債	440,000	430,000
短期借入金	804,980	515,000
1年内返済予定の長期借入金	115,700	216,000
リース債務	62,105	53,567
未払法人税等	35,263	18,561
賞与引当金	28,760	48,930
資産除去債務	—	1,000
その他	461,290	454,936
流動負債合計	3,404,843	3,336,828
固定負債		
社債	720,000	600,000
長期借入金	253,500	650,000
リース債務	67,614	54,871
退職給付引当金	263,734	261,329
資産除去債務	160,195	160,371
その他	83,956	75,645
固定負債合計	1,549,000	1,802,218
負債合計	4,953,844	5,139,047



(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成27年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	369,266	369,266
資本剰余金	292,300	267,045
利益剰余金	33,400	95,764
自己株式	△60,552	△60,552
株主資本合計	634,414	671,523
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,627	14,486
評価・換算差額等合計	11,627	14,486
純資産合計	646,041	686,010
負債純資産合計	5,599,885	5,825,057

## (2) 四半期損益計算書

## 第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	2,965,264	2,936,052
売上原価	1,468,583	1,452,247
売上総利益	1,496,680	1,483,805
販売費及び一般管理費	1,514,675	1,395,341
営業利益又は営業損失(△)	△17,994	88,464
営業外収益		
受取利息	74	18
受取配当金	104	120
破損商品等弁償金	64	32
保険配当金	2,307	133
雑収入	402	958
営業外収益合計	2,953	1,263
営業外費用		
支払利息	7,469	8,761
社債発行費	7,680	—
支払手数料	4,595	3,830
為替差損	494	1,743
雑損失	108	796
営業外費用合計	20,348	15,131
経常利益又は経常損失(△)	△35,390	74,596
特別損失		
固定資産除却損	541	93
店舗閉鎖損失	13,522	275
特別損失合計	14,063	368
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△49,453	74,227
法人税、住民税及び事業税	7,300	13,800
法人税等調整額	△5,095	△1,935
法人税等合計	2,204	11,864
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△51,658	62,363

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、インテリア雑貨販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。